

建物断熱仕様

基礎:擬似基礎内断熱

壁:内断熱

天井:厚40mm? すき間は多い 上げ天井部周囲(壁・天井)は断熱材 なし

屋根:スレート屋根に遮熱塗料(ガイナ) 母屋下部遮熱シート(全面)

窓:二重サッシ または 複層ガラス

気密性:外壁気密性 低い 2階天井気密性 低い

【計測条件】

キッチン:弱運転

温度計台所H=1.0m

※昨年はキッチン換気扇強、浴室換気扇ONにしないと外気温より高温になった。

※昨年、外気温37~38度時、室内42度(換気扇弱運転、多分)

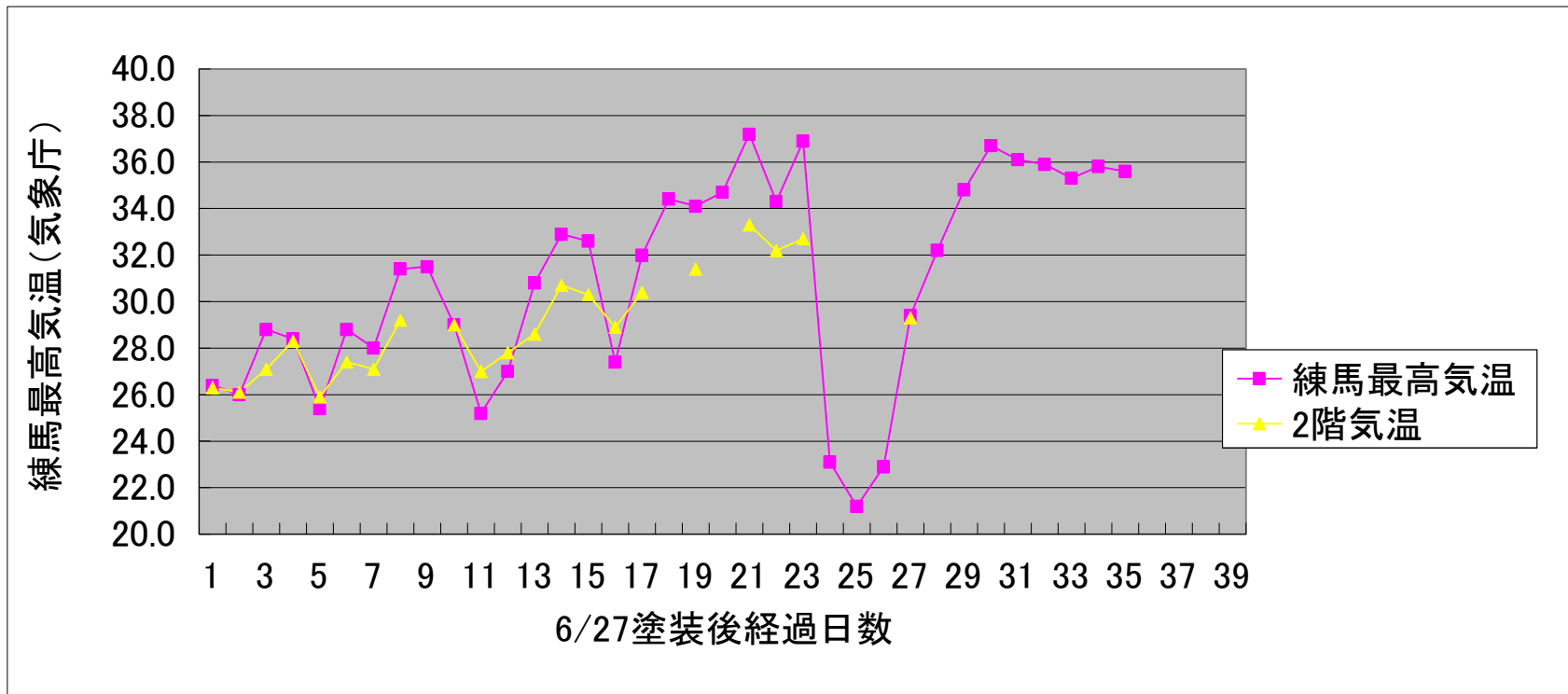
※気象庁記録はあくまでもピーク最高気温なので、継続時間が短い場合もある。

※夕方以降 2階窓は開放

			気象庁練馬 最高気温	2階リビング 最高気温	小屋裏H= 天井+300	台所換気扇	浴室換気扇	
6月	27	水	26.4	26.3		?	OFF	14:30帰宅時までの記録
	28	木	26.0	26.1		?	OFF	来客・エアコン使用
	29	金	28.8	27.1		?	OFF	
	30	土	28.4	28.3		弱	OFF	調理時高温除く
7月	1	日	25.4	25.9		弱	OFF	
	2	月	28.8	27.4		弱	OFF	
	3	火	28.0	27.1		弱	OFF	日中30度以下(21時現在 1階26.2度 2階27.4度 練馬25.5度)
	4	水	31.4	29.2		弱	OFF	
	5	木	31.5			弱	OFF	
	6	金	29.0	29.0		弱	OFF	
	7	土	25.2	27.0		OFF	OFF	エアコン使・エアコン28度設定で室温28度

8	日	27.0	27.8		弱	OFF	不在中、階段下から2階へサーキュレーターで送風
9	月	30.8	28.6		弱	OFF	エアコン使・エアコン28度設定で室温28度
10	火	32.9	30.7		弱	OFF	
11	水	32.6	30.3		弱	OFF	
12	木	27.4	28.9		弱	OFF	
13	金	32.0	30.4	32.2	弱	OFF	エアコン使用
14	土	34.4		34.6	弱	OFF	エアコン使用
15	日	34.1	31.4	34.0	弱	OFF	エアコン使用
16	祝	34.7		34.0	弱	OFF	
17	火	37.2	33.3	38.3	弱	OFF	エアコン使用
18	水	34.3	32.2	36.1	弱	OFF	エアコン使用
19	木	36.9	32.7	37.4	弱	OFF	エアコン使用
20	金	23.1		—	弱	OFF	エアコン使用
21	土	21.2		—	弱	OFF	エアコン使用
22	日	22.9		—	弱	OFF	
23	月	29.4	29.3	31.4	弱	OFF	
24	火	32.2		32.6	弱	OFF	
25	水	34.8		34.8	弱	OFF	
26	木	36.7		36.7	弱	OFF	
27	金	36.1		37.5	弱	OFF	
28	土	35.9		36.5	弱	OFF	
29	日	35.3		—	弱	OFF	
30	月	35.8		—	弱	OFF	
31	火	35.6		—	弱	OFF	

・7/29 6:30 ~ 7/31 19:00 外出 (2階リビング) 最高気温34.5度 小屋裏最高気温38.2度



【今後の室内温度上昇抑制対策】

①換気扇全てOFF

温度の高い外気をとりにこまないため、低温を維持できる可能性有り(計測予定)

②小屋裏換気扇設置

有効性の事前検証として、小屋裏空気をUBへ引き込み、その後UB換気扇にて外へ放出する。(計測予定)

③上げ天井部の断熱材設置

立ち上がり壁、屋根裏面の断熱材未施工部分に断熱材を設置する。遮熱塗料施工により冬季の日射取得が減少するため、冬季の断熱(防寒)対策としても有効